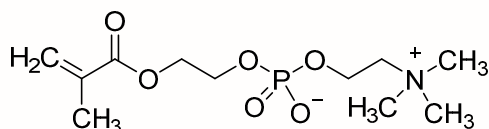


モノマー

双性イオンモノマー

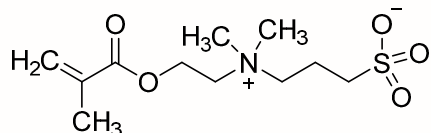
双性イオンモノマーは、カチオン部位とアニオン部位を同一分子内に有しているモノマーであり、アミノ酸、タンパク質、核酸、リン脂質などの生体分子に双性イオン性を有する分子が多いことから、本モノマーから合成されるポリマーはバイオマテリアルの材料として注目を集めています。当社では、スルホベタインモノマーを中心に双性イオンモノマーをラインアップしています。バイオマテリアルの研究・開発にぜひご利用ください。

<ホスホベタイン>

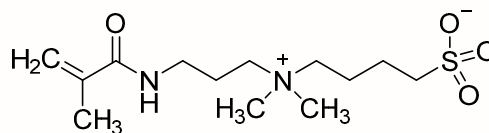


りん酸2-(メタクリロイルオキシ)エチル
2-(トリメチルアンモニオ)エチル

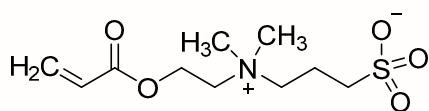
<スルホベタイン>



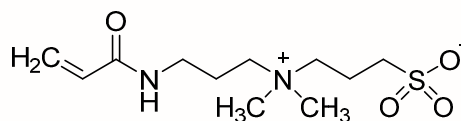
3-[[2-(2-(メタクリロイルオキシ)エチル]ジメチル
アンモニオ}プロパン-1-スルホン酸



4-[[3-(3-(メタクリルアミドプロピル)ジメチル
アンモニオ]ブタン-1-スルホン酸



3-[[2-(2-(アクリロイルオキシ)エチル]ジメチル
アンモニオ}プロパン-1-スルホン酸



3-[[3-(3-アクリルアミドプロピル)ジメチル
アンモニオ}プロパン-1-スルホン酸

■ 本品の特長

- 高い水溶性
- ポリマーの用途として生体適合性材料、ドラッグデリバリーシステム、ヒドロゲルなどに応用。¹⁾

【参考文献】

1) Erfani, A., Seaberg, J., Aichele, C. P., Ramsey, J. D. : *Biomacromolecules*, **21**, 2557 (2020).

